

4,330 人が卒業 新型コロナに対応し、 キャンパスで学位記授与

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルスの感染防止のために両国国技館で予定されていた卒業式・学位記授与式を中止とし、3月22日（日）に神田・生田の両キャンパスで学部ごとに、学部（一部・二部）4,235名、大学院（修士・博士）81名、法科大学院14名の計4,330名の卒業生に学位記が授与された。大学ホームページには特設ページを設け、学長・理事長の祝辞、卒業生総代の謝辞、社会で活躍する先輩のメッセージや4年間を振り返る動画などが配信された。

佐々木重人学長はお祝いのメッセージの中で、学部生が入学当時の矢野建一学長（故人）が入学式で語った「不愼不啓」の一節を引用し、課題に対し奮闘する大学での学びを全うできたかを卒業生に問いかけた。また日高義博理事長は「歴史と伝統のある本学で勉学したことに自信と誇りを持って、学窓を飛び立って」と激励した。

総代謝辞を述べた河井良太さん（経済）は「未知の問題もこれから数多起こるでしょうが、専修大学で培った強い精神力と知力で前に進む」と、山下佳織さん（商）は「広い視野で世界を見たとき、専修大学での学びは大きな意味を持っていることに気づいた」と力強く語った。

思わぬ形で晴れの舞台を奪われた卒業生だが、その顔に悲しさはなかった。例年より早い開花の桜に彩られたキャンパスで、共に学んだ仲間と笑顔で卒業の喜びを分かち合う姿が見られた。



→特設ページには顔なじみの学食のシェフや警備員さんなどからのメッセージ動画も

